

≪ 本文書の対象となる方 ≫

2025年4月1日～2026年3月31日の間に気管支喘息でICSを導入後に吸入指導を再び実施した15歳以下のお子さんとその保護者の方へ

課題名	気管支喘息における吸入再指導の評価の後方視的検討
承認番号	2026-006 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 アレルギーセンター アレルギー小児科 氏名 磯崎 淳
研究期間	病院長による許可日 ～（西暦） 2026 年 7 月
研究の意義・目的	気管支喘息の病態の基本は気道の慢性炎症であり、抗炎症治療薬である吸入ステロイド薬(inhaled corticosteroid ; ICS)は主要な薬剤です。しかし、有効な吸入手技が獲得・維持されなければ、効果を発揮しません。また、ICS 導入時に吸入指導を行ったとしても、時間の経過により適切な手技がおろそかになる可能性があります。そのため、正しい ICS の吸入方法を身に付けることが重要となります。 本研究は、ICS 導入後、吸入指導を再び実施した 15 歳以下のお子さんの診療録をもとに、獲得・維持されにくい吸入手技の項目を明らかにすることを目的としています。 獲得・維持されにくい ICS 吸入手技の項目が明らかとなれば、それは導入時の重点指導項目となり、ICS 吸入手技の獲得・維持の向上につながるものと考えています。
研究の方法 (対象期間含む)	2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日、気管支喘息で ICS を導入後に吸入指導を再び実施した 15 歳以下のお子さんが対象となります。 対象となるお子さんの診療録をもとに、背景情報、吸入手技の 7 つのチェック項目の達成度を評価します。 また、加圧式定量式噴霧器(pressurized metered dose inhaler ; MDI)製剤とドライパウダー定量吸入器(dry powder inhaler ; DPI)での達成度と、各デバイス間での違いを検討します。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	診療記録や検査結果などの情報を使って、病気の種類や症状、治療の内容、回復の様子を分析します。 お子さん個人が特定されないよう、名前などの個人を識別できる情報はすべて削除し、研究固有の記号に置き換えて利用します。 外部にデータを提供することはありません。
利用又は提供する 試料・情報の項目	背景情報：年齢、性別、ぜん息重症度、コントロール状態、再指導までの期間 吸入手技のチェック 7 項目の達成度：薬剤のセット、息の吐き出し、薬剤の放出、薬剤の吸入、息止め、息の吐き出し、うがい
試料・情報を 利用する者の範囲	アレルギー小児科：磯崎 淳、小張真吾 アレルギー内科：橋場容子 アレルギーセンター看護師：上原直子、東田友里恵

様式 5

試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 アレルギー小児科 磯崎 淳
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 アレルギー小児科 磯崎 淳 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101